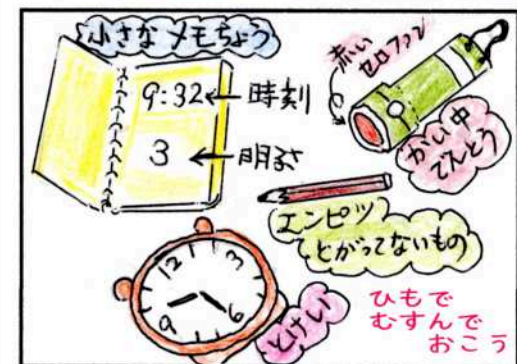


流星群は、太陽をまわる地球と、やはり太陽をまわる流れ星の“砂粒”の流れがまじわって出現するよ。毎年同じころに見られるし、いろいろな流星群があるよ。



夏休みは惑星や流星と話題がいっぱい！ほしぞらを楽しみましょう。この「ほしぞらかべ新聞フレアデス」はフォーマルハウートのホームページからダウンロードもできます。ご利用、配布してください。次回は秋の星座（エチオピア王家の物語）と11月の部分月食を取り上げます。お楽しみに。https://fomalhaut-omachi.ltt.jp/



9月21日は十五夜、『中秋の名月』。この季節の月は、イモいらしい。お月見してね！イモも名月ともいうよ！イモい！！

## 8月中旬 午前2時ころの北東の星空



流れ星は、宇宙をただよう「砂粒」が地球の大気とぶつかって光るもの。「砂粒」は、ほしぞら星がまきちらしたものだよ。夜空に光る星が、とつぜん流れてきえるわけじゃないんだ。

流れ星をじょうずに見るコツ！  
1 暗い空で見よう  
2 広いところで見よう  
3 30分は夜空を見つめよう  
4 おうちの人と、安全なところで見よう

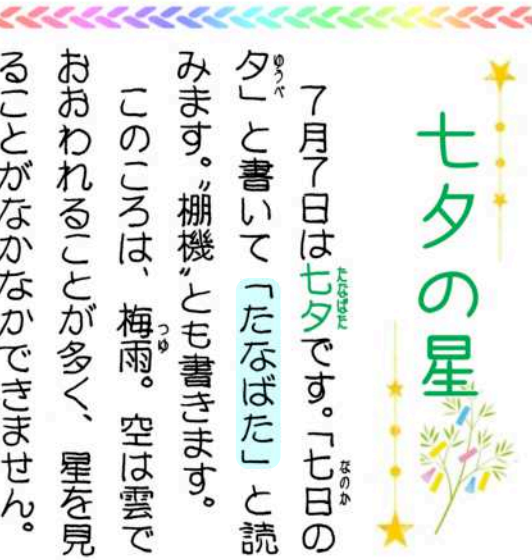
### 夏の夜は流れ星

ペルセウス座流星群

夏の夜は流れ星が多くて、とくに、8月13日の夜明け前は「ペルセウス座流星群」といって、晴れていればたくさんの流れ星が見られるよ。

砂粒は上空100kmぐらいで大気とぶつかるから、流れ星は東京や名古屋、もちろん長野県の空にも現れるよ。空ぜんたいに見えるから、空のどこを見てもいいんだ。

夏休みのはじめは流れ星が多いので、ぜひ見つけてみようね。



### 七夏の星

7月7日は七タです。「七日のタ」と書いて「たなばた」と読みます。棚機とも書きます。このころは、梅雨。空は雲でおおわれることが多く、星を見ることがなかなかできません。ところでまたたいています。

## 8月中旬 夜8時すぎの東の星空(2021)



織姫(おりひめ)の星はこと座のベガ、彦星(ひこぼし)はわし座のアルタイル。はくちょう座のデネブと共に「夏の三大角」を作っています。ベガとアルタイルのあいだにある白っぽいおびのような光は、数億以上の星が集まる「天の川(あまのがわ)」です。

～宇宙なぞなぞ～  
Q1 86この星が集まるとカワイイ動物になるんだって！ な～んだ？  
Q2 へんなにおいのする星って なーに？  
1号の宇宙なぞなぞ、答えは 1: 流れ星(名が「れ」) 2: 宇宙飛行士(うちゅううごしん)



### 惑星

#### こんにちわくせいさん

地球が太陽のまわりを回っているように、たくさんの星が太陽のまわりを回っています。その中でも太陽に近くて大きな8個の星を「惑星」とよんでいます。惑星は太陽の光をうけてかがやきます。そのかがやいているすがたを私たちは地球から見ることができません。惑星は太陽から近いじゆんに「水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星」と8個あります。土星までは望遠鏡がなくても自分の目で見ることが出来ます。これからは暗くなると東の空に「土星」と「木星」がのぼってきます。星座の星よりずいぶん明るくかがやいているので、きつとすぐ見つかるでしょう。